A－25　次の記述は、アマチュア衛星通信について述べたものである。このうち誤っているものを下の番号から選べ。

1　地球を周回している非静止衛星の通信エリアは、衛星の周回とともに移動するため、一定時間しか通信ができない。
2　衛星からの電波がフェージングを伴うことがあるのは、大地・建造物反射の影響や偏波面の変化等が原因である。
3　アップリンクの周波数は、超短波(VHF)帯又は極超短波(UHF)帯の周波数が用いられることが多い。
4　通信に使用できる電波型式は、どのアマチュア衛星もF3E(FM)電波のみである。
5　偏波面の変化に対応するため、クロス八木（八木・宇田）アンテナやヘリカルアンテナなどが使われる。